

第2回 日本ジオパーク大会 開催記念ジオツアー

今秋洞爺湖周辺で開かれる第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会開催を記念する、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会主催のジオパークツアーが、6月18日、19日に連続して開かれました。

18日開かれたのは、「2000年噴火遺構コース」ジオツアー。43人が参加して、西山山麓火口群、金比羅火口群や災害遺構散策路など2000年噴火の跡をたどりました。

19日には、小学5年生から中学生を対象にジオパーク勉強会が開かれ、30名が参加しました。

昭和新山、有珠山の1977年噴火遺構などの見学。そうべつくだもの村ではイチゴ狩りでおいしい“ジオパークの恵み”を堪能しました。



2000年噴火の足跡をたどる参加者

シリーズ④

洞爺湖有珠山ジオパーク



西山山麓散策路

2000年噴火では地下に潜り込んだマグマが地表を押し上げ、最大で70m以上隆起しました。西山山麓の火口の一部では、噴火から10年が経過しようとする現在でも、水蒸気をあげている場所があり、それらの火口をつなぐように、散策路が整備されて地元の人や観光客に2000年噴火の様子を伝えています。また、2000年の火口群周辺は噴火直後の生態系を観察するのに適した場所でもあります。現在は裸地から多年生植物への回復過程にあり、火山噴火跡地特有のオオイトドリなどが多く見られます。

(3) 第1展望台

2000年の噴火では有珠山の北西山麓に60個以上の火口が1ヶ月足らずの間に相次いでつくられました。その中でも最も活発で火口から噴出した噴石と火山灰が積み重なって火砕丘をつくったのがこの第1展望台の正面に見える火口です。



(4) 第2展望台

この第2展望台となっている場所の南端辺りが2000年の活動でできた多くの断層のうち、上下のずれが最も大きかった場所です。散策路を歩くと、もともと平坦だった地形が激しく変動した大地の大いなる力を感じることができます。



第1回

洞爺湖

有珠山

ジオパーク

フォト
コンテスト

■応募締切 8月15日(月)必着

■募集する作品

- ・撮影場所 洞爺湖有珠山ジオパークエリア内(伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町)
- ・内容 地球の活動を伝える写真/人と地域の関わりを伝える写真/自然の美しさを伝える写真/学術的・教育的な価値があると考えられる写真/歴史や伝統を伝える写真/その他、洞爺湖有珠山ジオパークの魅力を伝える写真
- ・作品は、本人が著作権を有する未発表で、他コンテストなどで入選・入賞などしていないものに限りです。
- ・作品の被写体の肖像権その他の内容に関する一切の責任は、応募者にあるものとします。

■応募サイズ等

- ・写真用紙にプリントか焼き付けしたA4又は

ワイド六つ切りに限ります。

- ・モノクロ・カラーは問いません。色のレタッチ、明度・彩度の補正は問いません。
- ・作品の裏面には、必要事項を記入した応募票を貼付してください。

■応募作品について

- ・応募作品は返却いたしません。
- ・応募作品の著作権は撮影者に帰属しますが、主催者及び洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会が使用权を有します。

◆応募・詳細

洞爺湖有珠山ジオパークフォトコンテスト係

☎ 0142-66-4200

E-mail ecogeo@town.sobetsu.lg.jp